

みやぎ子ども神楽公演



村所神楽 (村所神楽保存会)

村所八幡神社では、後醍醐天皇の第九皇子・懐良親王を主祭神として「大王様」と称えて祀っており、そのほかにも良宗王や、米良領主・米良弥太郎重鑑公などが合祀されています。神楽では、「大王様」をはじめ、「爺様」や「八幡様」など、南朝に関わる神々が次々と登場します。これらの神々が登場する神楽は、神事性の強い「神神楽」と呼ばれ、後半は「民神楽」と呼ばれています。民神楽では神楽囃子が場をにぎわせ、社人の舞も一層映えるものとなっています。



三納代神楽 (三納代神楽伶人会)

三納代神楽は宮崎県新富町の三納代地区に伝わる神楽です。現在は三納代神楽伶人会が神楽伝承を担っており、三納代八幡神社での歳旦祭や夏祭り等での奉納を数多く行っています。昼神楽と夜神楽の境界に位置しており、大蛇に見たてた綱を真剣で切り落とす「綱切舞」や、法者・稲荷山といった五神が問答を行う「神武神楽」が特徴的です。旧暦12月11日に旧高鍋藩領内の6つの神社が合同で行う「六社連合大盛事」でも奉納されます。

神楽解説 講師：小川直之氏(國學院大學名誉教授 大学院客員教授)

みやぎの神楽魅力発信委員会委員長である小川氏に、神楽の魅力や出演する演目等について解説していただきます。

神楽公演



上椎葉神楽

国指定重要無形民俗文化財

伝承地 宮崎県椎葉村下福良

伝承団体 上椎葉神楽保存会

椎葉神楽は、村内26ヶ所の集落で11月中旬から12月下旬にかけて行われる夜神楽です。神楽は椎葉の人にとって1年を締めくくる祭りであり、地元では「冬祭り」、「年祭り」とも呼んでいます。

神楽は神楽宿(民家、神社拝殿、公民館)に舞所となる御神屋を設け、正面に高天原を立て、周囲には注連縄を張り巡らせ、御幣等の飾り付けをして舞われます。

神楽の特徴は、猪、鹿の奉納があり、粟、大豆、小豆等の雑穀を用いるといった、山岳地帯の狩猟、焼畑文化の要素を色濃く伝えており、山の生活を表しています。

椎葉神楽26集落の一つである上椎葉神楽は椎葉村の中央部に位置し、村の鎮守である椎葉蔵島神社の氏子で結成されている保存会です。毎年12月の第2土曜日から日曜にかけて夜を徹して20数番もの神楽を奉納しています。



比婆荒神神楽

国指定重要無形民俗文化財

伝承地 広島県庄原市

伝承団体 比婆荒神神楽保存会

比婆荒神神楽は、広島県庄原市の東部(東城町・西城町)を中心に行われる「本山三宝荒神」に奉納する祖霊信仰の神楽で、「鎮魂」の要素を多く残しているのが特色といわれ、特に「託宣」(神懸かり)の神事をつたえていることは、全国的にみても貴重な神楽です。

この地方には中世の名残り「名」の形がそのまま残っており、本山三宝荒神は、名の信仰の中心であり、祖霊神、守護神、産土神としての性格をもつことから、その信仰は非常に厳しく、荒神祭に奉納する小神楽と、式年(7年、13年、33年等)の大神楽は、名内の人々が、もっとも盛大に厳粛に行っていました。比婆荒神神楽は、神々への信仰とともに、中世から現代まで連綿と続けられています。

※名：一族や集落の単位

申し込み方法

電話・FAX・専用応募フォームからお申し込みください。
観覧決定者には入場整理券(ハガキ)を発送いたします。
※定員になり次第受付を終了いたします。

申し込み お問合せ

みやぎKAGURAフェスティバル事務局(テレビ宮崎商事内)
TEL.0985-27-8980 (電話受付/平日10時~17時)

応募フォームからお申し込み

右記のQRコードからアクセスしてください。
<https://www.umk-s.co.jp/>

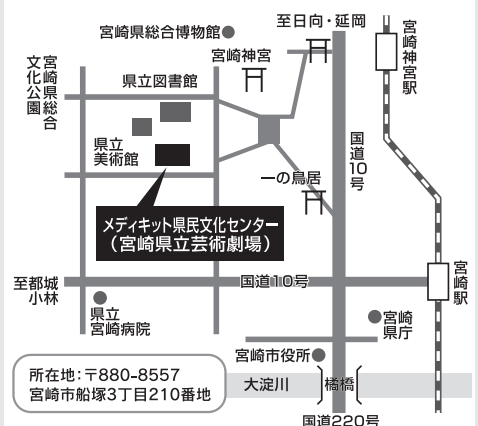


【FAX 送信先】0985-27-8994

お名前			
電話番号		申込人数	
住所	(〒 -)		

※ご記入いただいた個人情報は本イベントの運営管理以外の目的には使用いたしません。

会場のご案内



メディキット県民文化センターには専用の駐車場がありません。お越しの際は、公共交通機関をご利用ください。